

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 18 号

平成 4 年 5 月 16 日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



東奈良小で熱烈歓迎を受ける安慶市友好代表団

目次

- 好評を博した 4 回目の書画展…………… P 2・P 3
- 安慶市長を団長とする安慶市友好代表団来茨…………… P 3
- 紅葉の秋の小豆島へ市民親善訪問団…………… P 4
- 市立中央図書館にミネアポリス市芸術家の作品設置…………… P 5
- 青少年活動室“WE ARE FRIENDS”の紹介…………… P 6
- 第 8 回英語スピーチ大会結果、協会会員募集、姉妹都市活動室紹介…………… P 7
- 今夏の交流予定、茨木市における国際交流の足あと…………… P 8

安慶市書画展開催

— 市民と文化交流 —



すばらしい筆さばきを披露する張 旺清氏 (右)

書画院副院長で画家の張旺清氏が来茨しました。

本市にもファンの多い両氏の作品は、昭和62年、平成2年に続いて4回目の安慶市書画展出展となり、4月9日から6日間にわたり、「ロサヴィア」2階の市立ギャラリーで開催されました。

今回は、茨木市・安慶市友好都市委員会、特にその文化部会が中心となり、準備・運営が行われました。

書画展は連日多数の観客を集め、市民・協会会員のほかに、遠方からも愛好家が訪れていました。書

去る4月7日、本市の友好都市・中国安慶市から著名な書道家であり篆刻家の馬東昇氏と安慶市

や篆刻の実演が始まると、周囲をとりかこんだ人々から書体や筆のさばき方を質問したり、揮毫を

□書家・画家紹介□



馬東昇

安慶市青少年宮副主任
中国書道家協会会員、安徽省
篆刻研究会理事

幼年期から書道と篆刻に励み、その源を探り求め、思うままに変化し、落ち着きと力強さが字の中ににじみでる作風である。

安慶市書画院副院長

中国美術家協会会員、中国版
画家協会会員

水墨画、版画に長じている。

民族の風情、または、山水の趣から取材したものが多く、作風は、雄大で奥深く、清らかで美しい風格を持っている。



張旺清

書画展で再会

真砂一丁目 守谷勝枝



昨年5月、市民訪中団の一員として「安慶市」を訪問した時、青少年宮で見た馬・張両先生の作品に、すっかり魅せられてしまいました。

その両先生が来茨し、4月9日から市立ギャラリーで「安慶市書画展」を盛大に開催され、会場の作品にまたも時のたつのも忘れ、みとれてしまいました。

お二人との再会は「ニイハオ」の連続で、言葉は通じなくとも心は通い、とても楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

再会の記念に、篆刻をしていただきました。私が中国で手に入れた品々に「印」を捺し、何時までも大切にしていこうと思います。

求める声が飛んでいました。会場内で同時に販売された安慶の筆も好評でした。

馬東昇氏の書体は、自ら語っておられたように隷書体に篆書体を混ぜた独特の風格のあるもので、杜甫や李白らなじみの多い漢詩や鐘鼎文（殷・周時代の鐘鼎の銘文）などを書いていました。

一方、張旺清氏の絵画は、竹と雀の楽しい絵から抽象画に属する版画まで、幅広いレパートリーがあり、特に中国の名山一泰山、黄山、九華山を描いた山水画は人気がありました。



ギャラリーのショーウィンドを飾る2人の自信作



書画展会場(上)、観客の求めに応じる馬 東昇氏

安慶市友好代表団来茨



太田中で授業参観する代表団



東奈良小で
パソコン授業見学

署名する両市長(当時)

劉思魁市長を団長に、教育長、財政・人事局長などを団員とする安慶市友好代表団10人が2月24日から茨木市を訪問しました。

一行は滞在中、市長・議長をはじめ、茨木商工会議所・農業協同組合などを表敬訪問しました。また、松下電器や東芝の工場見学、東奈良小学校や太田中学校、健康増進センターなど公共施設を視察しました。

平成4年度交流計画については、両市市長が協議書に署名し、友好を深めていくことを確認しました。

劉市長は「茨木市はすばらしいまちです。この度の訪問は大きな成果を上げ、友好交流が一層深まることを確信しました」と感想を述べられました。



民俗資料館見学(右)〈第一団〉
岬の分教場での記念撮影(左)と

紅葉の秋 小豆島・内海町

昨年11月、小豆島の姉妹都市・内海町を、今回で3回目になる市民訪問団47人が訪れました。

参加希望者が多く、2団に分かれ、延べ3日間の訪問となりましたが、好天に恵まれ、2団一緒の内海町表敬訪問をはじめ、観光客の賑わう「二十四の瞳映画村」、島の昔を語る「小豆島民俗資料館」、紅葉真ただ中の寒霞溪などを訪れ、秋の小豆島を十二分に満喫した旅となりました。



での記念撮影(下)〈第2団〉
大坂城築城残石見学(上)と寒霞溪

心に残った内海町

西中条町 北折静子



秋晴れの11月6・7日の両日、オリーブの島小豆島・内海町へ市民訪問団第2団(22人)の一員として訪れました。

初日は、大坂城築城ゆかりの「八人石丁場跡」を見学し、先発隊の待つオリーブ記念館へ。内海町の皆様の温かい出迎えを受け、町への表敬訪問を行い交流を深めました。

情報いっぱいのオリーブ記念館やハーブ園、太陽が育くんだミカンの試食、二十四の瞳映画村や岬の分教場と半日かけめぐり、宿舎の「茨木市市民海の家」へ到着しました。

夜の懇親会では、「オリーブの歌」や内海町合併40周年記念のイメージソング「花街道」を全員で合唱し、なごやかなひとときを過ごしました。

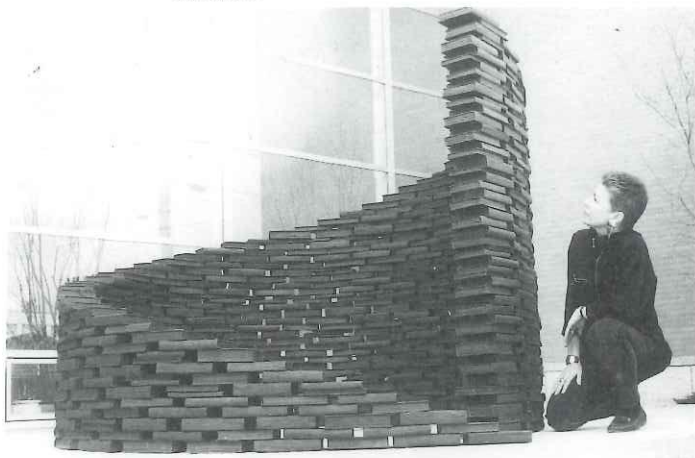
翌日は、「小豆島民俗資料館」「マルキン記念館」を見学し、紅葉の寒霞溪へ。深い渓谷を眼下に青峰を縫いつつ進むロープウェーはすばらしいものでした。

二日間の訪問でしたが、内海町の皆さんの心づくし、自然の美しい島、港でのテープによる別れ等、受けた感動は末長く胸に残ることでしょう。

新設の市立中央図書館にミネアポリス市芸術家の作品設置

4月1日にオープンした市立中央図書館にミネアポリス市在住の彫刻家ハリエット・パートさんと陶芸家アンドレア・L・デネッキさんの作品が設置されています。

正面入口前に設置されたパートさんの作品「ヘリコーン・ボリューム」は、ブロンズで作った書籍をらせん状に積み上げたもので、最上段には、本市の名誉市民川端康成氏の「雪国」を配し、その他著名な日本の作家の作品名が織り込まれています。



正面入口前に設置された「ヘリコーン・ボリューム」



南側に設置された「ミシシッピーの記念碑」



パートさん

私にとって図書館は魔法の部屋で、閉じた本は見知らぬ知識の豊庫。幾何学的な広がり、詩的な客体、社会と個人が積み上げてきた表象を示しています。

一方、南側中庭に設置されたデネッキさんの「ミシシッピーの記念碑」は、日本留学中に学んだ益子焼の作品です。栃木県・益子町で制作に取り組み、信楽の土にミシシッピーの川の砂を塗り付け焼いたものです。

彫刻・陶芸家2人展

2人の作家の来茨を記念し、4月1日～12日に開催された「彫刻・陶芸家2人展—ミネアポリスからのメッセージ」

では、青銅や紙を材料とし、すべて書物をテーマとしたパートさんの作品8点と、この2人展のためにデネッキさんが焼いた益子焼の作品5点が展示されました。



デネッキさん

焼き加減がむつかしかった。中央の2本の柱は茨木・ミネアポリス両市の理想や友情、平和などを表わし、それが融合している状態を表現しています。



世界に 友達をつくろう

WE ARE FRIENDS

“WE ARE FRIENDS”に参加すると、茨木で外国の祭りに加わり、ダンスをし、外国の食物を食べ、世界中に友人をつくることができます。

オーストラリアのシェリー・ワーナーさんは、シァターゲームを教えてくださいました。そして、私達は手や顔、身体を使い、言葉なしでコミュニケーションする方法を学びました。

大阪国際研修センターで開いた新年パーティーでは、カリフォルニア生まれのスコット・ハスラーさんがダンスを教え、山本寛子さんが複雑なダンス教授の通訳をしてくださいました。

11月のクリエイティブセンターでの本物の感謝祭のディナーは素晴らしいものでしたが、この時はオーストリアのセシリア・ムラタさんが準備してくれました。

4月のイースターの時にはエッグハントを行い、茨木に新しい伝統ができました。集まった人達は、明るく色づけした卵やチョコレートキャンディーを公園でたくさん見つけ、春の到来を祝いました。

米国のウェンディー・ヒサノリさんは茨木に8年以上住み、2月のバレンタインのパーティー以来、私達にゲームをたくさん教えてくれています。

行事では、本の代わりにゲームや音楽・アートを使うため、生徒達は自然に英語をいくらか使いつつ始めていることに気づき、驚いています。

我がクラブでは、英語は必要ありません。コミュニケーションしたいという気持ちと温かい笑顔だけをお持ち下さい。(ジューン・スクワイヤー記)

※寄稿して下さったジューン・スクワイヤーさん(茨木市在住)は、現在青少年活動室の中心的指導者で、英語学校の外国人教師のとりまとめ役をしておられるため、この活動室に多くの外国人の友達を紹介して下さいます。



感謝祭での料理作り



ハスラー氏のダンス教室



ジューンさん(後列中央)とエッグハント



自熱の英語スピーチ大会

昨年の11月3日(日)(文化の日)に茨本市福祉文化会館(オークシアター)文化ホールで「第8回英語スピーチ大会」を開催し、中学生17人と高校生8人が参加しました。

中学生は「The Art of Conversation」または「The Ant and The Dove」のテーマを暗唱。高校生はリサイクルや国際交流などそれぞれの自由テーマを約3分間ずつ発表しました。

入賞者の皆さんは次のとおりです。(敬称略、学年は当時)

〔中学生の部〕(優勝)二反長知子(北中)〈二位〉西本加奈子(西陵中)〈三位〉渡辺奈保子(東中)〈ジャパントイムズ賞〉岡市正達(同志社中)

〔高校生の部〕(優勝)齊木豊和(千里高)〈二位〉二反長博子(福井高)〈三位〉山口奈々実(梅花高)〈ジャパントイムズ賞〉西田伸子(神戸女学院高)

	優勝	第2位	第3位	ジャパントイムズ賞
〈中学生の部〉				
	二反長知子	西本加奈子	渡辺奈保子	岡市 正達
〈高校生の部〉				
	齊木 豊和	二反長博子	山口奈々実	西田 伸子

協会会員募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられる方々の入会を心からお待ちしています。

会員には、年2回発行しています協会報などによる本市国際活動情報の提供、会が催す姉妹・友好都市との交流行事・ゴルフコンペ等へのご案内をいたします。

〈年会費〉 個人会員(一般) 2,000円
 (学生) 1,000円
 団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉 協会事務局(市役所3階自治推進課
 国際交流係 ☎22-8121 内線2143)

姉妹都市活動室紹介

英語力および国際感覚の向上をめざして、月2回、福祉文化会館(オークシアター)等で、外国人ゲストを迎えての講演会や研究会などを英語で行っています。

どうぞお気軽にご参加下さい。

また、「友愛」夢の文字入りTシャツ(2,000円〜)を作成いたしました。ご希望の方は、外国へのお土産等にご利用下さい。

〈例会〉 木曜会 第1木曜日午前10時
 土曜会 第3土曜日午後2時

〈年会費〉 正会員 2,000円(18才以上)
 準会員 1,000円(中・高校生)

I
N
F
O
R
M
A
T
I
O
N

平成4年度 (1992年度)

夏の交流計画

今年度の夏の交流計画を紹介します。
夏には、先ずミネアポリス市からカントリー・ウエスタンの音楽グループがやってきて、20周年の茨木フェスティバルに出演するほか、市民会館でコンサートを開きます。本場のカントリー・ウエスタンを聴く機会が2、3回あると思いますので、どうぞ楽しみにお待ち下さい。



続いて、スポーツチームがやってきます。茨木市少年サッカーチームのミ市訪問時のホストチーム、メイプル・ブルック少年サッカーチーム

が、茨木の市民サッカー大会に参加するため来茨します。8月6日から9日間滞在し、全てホ



ームステイしますので、ご希望の方はホームステイ家庭としてご応募下さい。

安慶市からはスポーツ代表団が、8月17日に到着します。これは、本市のスポーツ代表団受入れに対する相互交流として、今回招待するものです。新しい市の施設竜王山荘で宿泊し、市民体育館・市民プールで卓球と水泳の親善試合を2日間にわたって行います。

茨木市における国際交流の足あと

—第17号以降の経過—

(1991)

- 3.11 第8回英語スピーチ大会開催
- 11 「内海町への市民訪問団」2団計47人内海町訪問
- 11 「茨木市文化財愛護会」一行12人内海町で歴史探訪
- 11 内海町「苗羽婦人会」一行38人視察のため来茨
- 12 ミネアポリス市芸術委員長トーマス・モリン氏来茨



馬山市とのテニス交流

(1992)

- 4.1 「安徽省友好訪日団」一行3人来茨
- 2 「ミネアポリス市ライオンズクラブ」一行6人来茨
- 2 「安慶市友好代表団」一行10人来茨
- 3 ミネアポリス市テナント社社長ロジャー・ヘイル氏来茨
- 3 韓国・馬山市高校生ら11人茨木市でテニス交流
- 3 「茨木市地域婦人団体協議会」一行29人内海町視察
- 4 「韓国・馬山青年会議所」一行12人児童画交換表彰式出席のため来茨
- 4 ミネアポリス市彫刻家ハリエット・バートさん、アンドレア・L・デネッキさん来茨。市立中央図書館ギャラリーで作品展開催
- 4 安慶市書道家馬東昇氏、画家張旺清氏来茨。市立ギャラリーで書画展開催



ミ市ライオンズ
クラブ訪問団



ミ市からの
ヘイル氏